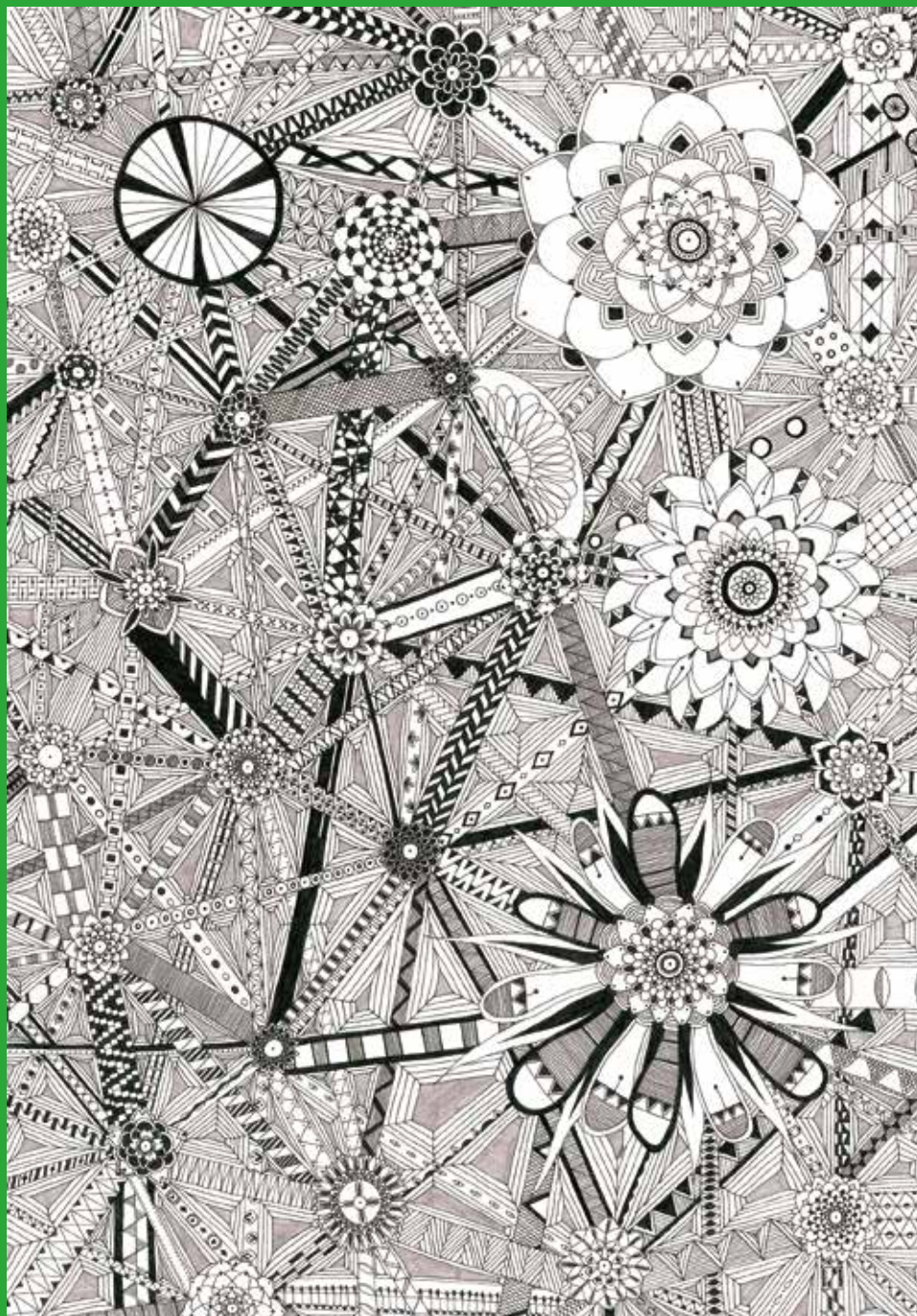


とっとり 県議会だより

No.022
Sep.
9月議会

編集・発行…鳥取県議会
県議会広報紙…年4回発行
平成29年12月1日発行



〈平成28年度あいサポート・アートとっとり展 金賞〉「線」塩崎 琴音さん
描きたい時に描きたいように描きたいキャンバスに…フリーハンドで次々とボールペンで
線を引いていきます。出来上がりは本人にも分かりません。

● 9月定例会の概要

9月定例会は9月14日、平井知事から総額20億5千万円余の一般会計補正予算や民間活力を導入し空港の運営効率化や利用促進を図るための鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部改正など13議案が提案されて開会した。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と会派民進党が、一般質問には26名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中に突然の衆議院解散となり、急遽、選挙執行経費の補正予算が組まれ、9月17～18日に発生した台風18号災害関連予算と合わせて、総額10

億8千万円余の補正予算が28日に追加提案された。これは緊急を要することから翌29日に採決を行い、可決した。また人事委員会委員と公安委員会委員の人事案件2議案も追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、先議分を除く13議案を原案どおり可決、同意。決算認定2議案を継続審査とした。議員提出議案については「北朝鮮による弾道ミサイル発射及び核実験等に抗議する意見書」など3議案を提案し可決した。

請願、陳情については、請願2件、陳情8件の計10件を不採択と決し、10月11日に28日間の会期を閉じた。

代表質問

自由民主党

選挙区 岩美郡
広谷 直樹 議員



今後の政治姿勢について

問 平井知事は平成27年4月に3期目の任期をスタート、10月に「鳥取県元気づくり総合戦略」を策定し、鳥取県ならではの「強み」を生かした地方創生の実現に取り組まれている。この「総合戦略」の今年7月の改訂版では10項目で目標値を上方修正するなど成果は着実に上がってきている。3期目の任期も残すところ1年半、知事の今後の県政運営に向けての問題意識・意気込みを伺う。

答 一定程度成果の上があったこともあれば片方では課題もある。例えば昨年の中部地震や先般の台風18号被害などを受けて災害に強い鳥取県づくりが必要だ。また障がいのある方やお年寄りのケア、子育て支援などの安心づくりも重要。これらに一つひとつていねいに対応していくことで残りの任期を全うしたい。

高速交通網の整備促進

問 高速道路ネットワークは企業進出促進や広域観光ルート形成の「地方創生の道」であり、緊急搬送や医療連携の「命の道」だ。しかし高速道路は広域にわたってつながってこそ本来の機能を発揮する。山陰近畿自動車道の全線開通、山陰近畿自動車道と鳥取道との連結、鳥取道と米子道の4車線化などの重要課題について知事の所見を伺う。

答 山陰近畿自動車道全体では3割弱の整備率だが、今後5年、10年でつながって行く、そういう新しい時代を呼び込んでいく。未接続のミッシングリンク関係では予算概算要求では27%増の伸びで政府に対して強力に運動を展開している。米子道・鳥取道の4車線化も同様だが、地元と一緒に今秋東京で要望活動する必要がある。

観光振興について

問 「鳥取県元気づくり総合戦略」に掲げられている観光客誘致の数値目標の達成に向けて、どのよ

うな戦略を展開するのか伺う。また、山陰海岸ジオパークが平成30年に2回目の世界ジオパーク再認定を受けることになっているが、前回の認定時に今後の課題として指摘されていた①ガイドの外国語によるコミュニケーション能力の向上②新しい拡大エリアでの解説パネルや施設の設置とガイド養成、の2点について進捗状況を伺う。

答 「蟹取県」「星取県」、また広谷議員が熱心に取り組まれてきた「瑞風」、「鳥取の鉄道の旅」などは取組中、また自然や環境を生かした旅など研究に掛かっている。山陰海岸ジオパークの再認定に向けて、外国語によるコミュニケーションではスマホなどで利用できるアプリを作り、現地解説を受けられるようにした。大変好評だと聞いている。新拡大エリアでは49か所に案内板を設置し、拡大エリアでのガイド養成も進んでいる。

農業振興について

問 水田農業は、来年度の作付けから50年継続されてきた生産調整と10a当たり7,500円の直接支払い交付金が廃止される。完全な自由競争になるとは言えないが、需給のミスマッチが加速して米価の下落が一層進むことが懸念される。県産米の販売促進の現状と今後の見通しについて知事の所見を伺う。

答 県は従来産地名表示を進め、5年前5,000tであったが今は8,000tになった。JAいなばは東洋ライスと金芽米の協定を、JA西部は東京三越内でGABA米の試験販売など販売促進の動きあり。県としても予算面を含めて活動を支援していく。

教育行政について

問 平成28年3月、県教育委員会は「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」を定め、中学校卒業生数の減少への対応策として、県外から目標を持った生徒を受け入れることとし、平成28年度は4名、本年度は10名が入学、来年度は8校36名を募集とのこと。今後長期的に見て、県外からの生徒受け入れはどうあるべきか教育長の所見を伺う。

答 (教育長)各高校が特色ある教育活動を行い、県外生徒を受け入れることにより学級活性化、ひいては地域活性化へつなげるため、今後も実績を積み重ねつつ状況を見ながら進めていきたい。

代表質問

民進党

選挙区 鳥取市
坂野 経三郎 議員



国の地方創生への本気度

問 所得が増え、人口が増えるという実感を、県民の皆さんが感じて初めて地方創生は成功だ。安倍内閣の本気度が全く足りないと感じるがどうか。

答 原点を大切にするように、強く要望していく。

財政調整型基金300億堅持

問 財調基金は平成9年には、1千億円を超えていた。平井知事は平成19年に就任し、残っていた300億円を堅持する公約を掲げた。しかし、平成29年当初で割り込み270億円となった。私は堅持方針を応援する。市町村資金貸付基金は約131億円あり、現在貸し付けているのは24億円で、106億円現金がある。この基金については15年間議論されていなかったが、見直す時期が来たのではないか。

答 市町村側の御理解などを得て、精査研究する。

文化芸術振興策について

問 人材育成、環境整備、観光交流、移住、伝統保存、情報発信など、多岐にわたる取組みを進めるために、鳥取県の文化芸術振興に関するアクションプランを策定してはどうか。

答 行動指針の策定を、知事部局で目指していく。

公立鳥取環境大学の課題は

問 卒業生の進路は、県外出身の約8割は県外で就職。県内出身の約7割は県内就職。中国地方で一番低い県内出身学生の割合は、改善すべきだ。

答 大学側とよく協議をしていく。

減少する消防団員の確保策

問 鳥取青年会議所の一員として、宿泊型避難所体験イベントに参加した。そこで、炊き出しをしてくれた自衛隊の存在は地域防災で頼りになると感じた。隊友会、予備自衛官へ広報してはどうか。

答 防衛省、自衛隊と調整させていただく。

学校教育環境の改善を

問 ①エアコン設置状況は、全国平均41.7%で鳥取県31.3%。鳥取市19.8%境港市91.7%伯耆町97.1%であり、県内小中学校で格差があるが分析は②トイレの洋式化率は、県内高校の平均33.6%、鳥取西高校92.7%で鳥取商業高校6.3%。トイレの洋式化を進め、格差是正に取り組むべき。

答 (教育長)①市町村が進めるエアコン整備事業に対し、しっかりと財政支援ができるよう国に要望する②鳥取西高校は耐震改修の中で整備した。鳥取商業高校など極端に低いところは緊急対策する。

未来人材育成奨学金支援制度

問 大学院卒、大卒、短大卒だけでなく、専門学校で資格を取った保育士なども対象に含めるべきだ。

答 可能だと思う。体制が整えば改めて提案する。

えんトリーを、東中西部へ

問 とっとり出会いサポートセンターは大きな成果を出している。中部への拠点整備の可能性を問う。

答 関係者とよく協議をしていきたい。

農家所得の向上策について

問 「農業をいつやめようか。少なくとも、息子には農業はやらせない」という農家の声を聞いた。儲かる農業も大切であり、持続可能な農業も必要だ。若者に魅力的な農業への変革が必要ではないか。

答 活力増進プランの改定を含めて取りまとめる。

ドクターヘリ導入に向けて

問 ドクターヘリが、今年度末いよいよ導入される。兵庫県の豊岡病院ではフライトドクターは15名。鳥大病院は2名。如何にして確保するか問う。

答 鳥取大学が人材確保をできるよう協力する。

不登校対策・労働環境改善

問 ①公立中学校の不登校出現率は西部が低い。全県同じように対策を進めるのではなく、西部の取り組みを東部、中部へと広げていくべきでは②教員の勤務時間のICT管理体制の構築をするべきだ。

答 (教育長)①もう少し深掘りし検討していきたい②県のほうでも音頭をとりながら進めていく。

一般質問

9月定例会では、26人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

鳥取空港空の駅 化 森林環境税と整備

問 ①^ア空港を生まれ変わらせるように①全国の成功事例の研究を②林地の集約化、所有権の移譲、放置林地への課税強化を。

答 ①^ア第二の開港を迎える。新しき革袋に新しき酒をつぐ心持ちで入れ物と中身を新しくして時代を変えていく。銀杏議員の観点を含めて空港整備等も議論してきた①海と空を結ぶ全国でも珍しいパターンを作りたい。アミューズメントポイントの新しい展開を学んでいく②考えられていい。森林バンク制度を進める要請活動をする。



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

農林水産業スマート 化と成長産業化

問 AI(※1)やIoT(※2)を活用した本県農林水産業のスマート化と成長産業化の取り組みは？

答 農林水産業もイノベーションを起こす時代に入ってきており、それを支えていく地域の応援も大切だと思う。現在、本県でも農林水産業のスマート化を図るため、鳥大、産業機構などと鳥取農業イノベーション協議会を組織し、様々な挑戦ができるよう、付加価値を高めるイノベーションを図っており、成果も幾つか出てきている。今後もサポートし、後押ししていきたい。



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
会派 会派自民党

若桜町カリヤ通り 整備活用について

問 いよいよ来年3月、若桜鉄道に水戸岡デザインの観光列車がデビューする。これを契機に若桜の古い街並みや県道でもあるカリヤ通りを町と連携して整備・商品化し、観光列車とのセットで大きく売り出すべきだ。

答 若桜町が特別行動計画をつくり、条例を制定することが一番重要。カリヤ通りの整備は県道として修景事業など協力出来ることがあるかもしれない。観光地として楽しみ、住んでみて潤いのある若桜のまちづくりに協力していきたいと思う。



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

本県の施設の 管理運営について

問 本県は、直営、指定管理、今後予定のコンセッション(※3)等種々の方法で施設の管理運営を行っているが、多額の財政支出を伴っている。競争が生まれ難い産業振興条例の適用も含めて、見直す機会ではないのか。

答 現在それ以外に民間譲渡も含め議論している。37の指定管理者中33が平成30年度末で契約切れとなる。産業振興条例もあるが、県外事業者を対象とすることも含めて、今議会中又は11月議会中には議会に相談しながら検討を進めたい。



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派自民党

NBC災害(※4)、鳥取 空港コンセッション

問 ①NBC災害への対策マニュアルはあるか②鳥取空港へのコンセッション導入に当たっては、十分な県民への説明を③鳥取空港の東京便5便化継続への方策は。

答 ①ミサイル対策として本県独自マニュアルは作成している。今後、バージョンアップを図っていく②HPや県政だよりで説明するほか各段階で丁寧に説明し理解を得ながら進める③但馬圏域等も含めて空港の利用客層を広げ、広域的な周遊性を高めていく。

※1AI…人工知能 ※2IoT…モノのインターネットのこと。様々な「モノ(物)」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み ※3コンセッション…上下水道などの料金徴収を伴う公共施設などについて、施設の所有権を公的機関に残したまま、運営を特別目的会社として設立される民間事業者が行う方式。 ※4NBC災害…核(nuclear)、生物(biological)、化学物質(chemical)による特殊災害



澤 紀男 議員
選挙区 米子市
会派 公明党

夜間中学の開設へ協議会の設置を!

問 夜間中学開設に向けて、実態把握をして協議会設置に向けた検討をするとのことだったが、現状と今後の展望を伺う。

答 (教育長) 県外の夜間中学や設置に向けて動いているところを視察し、運営の実態や検討の進め方等について調査を進めている。その中で見えてきた課題等について、市町村の教育委員会や関係部局との意見交換を行いながら、引き続き研究を進めていきたい。まずは十分議論し整理した上で、県民を含めた合意形成の場として協議会の設置を提案したい。



長谷川 稔 議員
選挙区 倉吉市
会派 無所属

地下水保全条例と出産及び産後ケア

問 ①奥沢見川水量激減の原因の調査結果は②江府町での大量揚水は状況掌握可能か③産科及び周産期医療の状況は④妊娠SOSをキャッチする仕組みは⑤産後ケアガイドラインの評価は。

答 ①鳥取西道路工事の湧水との因果関係を調査中。原因究明する②サントリーは県条例が適用。取水状況の把握は可能③現在東部7中部2西部7の産科で対応。中央病院の整備により将来需要に対応する④保健所と「とりともっと」が相談窓口⑤市町村からは良い評価。活用を働きかける。



松田 正 議員
選挙区 米子市
会派 自由民主党

学校での弾道ミサイル対応について

問 文部科学省より北朝鮮による弾道ミサイル発射への対応を学校に求める要請が示されている。早急に危機管理マニュアルの見直しを行う必要があると強く感じているがいかがか。

答 (教育長) 危機管理マニュアルの見直し作業を現在行っている。県立学校あるいは市町村教育委員会に素案を示し、マニュアルの見直し等に着手してほしいということを申し添えている。学校では、避難ルール等の教職員間での確認や児童生徒への指導に取り組んでいる。



濱辺 義孝 議員
選挙区 鳥取市
会派 公明党

障がい者就労定着に向けた支援推進

問 国では、障害者総合支援法の改正により、新たなサービス開始、自立生活援助、就労定着支援等の制度創設について、平成30年施行を目指して検討が行われている。障がい者の就労定着支援について県はどのように考えているのか知事に問う。

答 国も就労の定着支援として制度化しようとしている。県内で新たに活用できるように情報収集し、障がい者の方がより定着されるように、国の制度も活用し、就労支援のサービスを充実強化したい。



福浜 隆宏 議員
選挙区 鳥取市
会派 無所属

中山間地活性化、地域猫、英語教育

問 ①智頭のモモンガ等、生物に着目した中山間地への誘客を図るため専門家を交えた協議を②殺処分ゼロに向けTNR(※)推進のためモデル地区指定と不妊去勢費用の全額行政負担を③小学校英語教育で民間人材の活用を。

答 ①鳥取砂丘での除草活動を好例に生態系保全やツーリズム支援事業等を応用していきたい②不妊去勢助成の引き上げ含め新年度に向けモデル事業を市町村など関係機関と相談したい③民間会社と連携した事例が県内外にあり参考にして対応したい。



横山 隆義 議員
選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

豪雨に対する防災・減災について

問 近年、各地で多発している豪雨災害に備え、森林を適正に管理し、緑の砂漠化を防ぐことが必要ではないか。また、地形や斜面状況からのリスク把握、橋脚改修や透過型砂防堰堤、貯木池設置など中山間地を中心に、複合的、総合的に防災対策を進めるべき。所見を伺う。

答 森の健康診断は引き続き実施していく。高性能機械の導入等により林業業者も増えつつあり、山が動く状況を今後も作っていく。リスク調査は今議会に予算を提案しているところ。

※TNR…地域猫を捕獲(トラップ)して避妊手術(ニューター)を施し、元の場所に戻す(リターン)活動のこと。



川部 洋 議員
選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

宅地建物の所有者不明問題について

問 宅地や建物の所有者不明化問題は全ての市町村が直面する大きな課題であり、県としても国の対応を待つのではなく、市町村と連携して実態を調査し、現行の制度でも可能な対策をとるべきではないか。

答 所有者不明の宅地・建物の利用権の移転や登記制度自体の抜本的変更など国に対して制度改正すべきことを改めて整理するとともに、市町村と協働で啓発事業を行ったり、空き家対策の協議会等で話し合う事柄の中から対策を研究したいと思う。



安田 優子 議員
選挙区 境港市
会派 自由民主党

美保湾を「世界で最も美しい湾」に

問 美保湾は、本県唯一の湾で天然の良港、豊かな漁場に加え霊峰大山、白砂青松の弓浜半島とともに天下の絶景であり、今また2019レーザー級世界選手権大会の会場として脚光を浴びている。この美保湾を、世界41の湾が加盟し、国内でも松島湾等4ヶ所が認定されている「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟申請することを提唱する。大山振興やクルーズ船対応等の事業にも追い風となると思う。

答 大変貴重な興味深い提案だと思うので、研究を始める。



興治 英夫 議員
選挙区 倉吉市
会派 民進党

集落営農の広域化プール事故対策は

問 ①地域農業を維持するため、集落営農の広域化が必要だ。②小学校プールでの飛び込み事故への対策は。飛び込み台の高さを、水泳連盟のガイドラインに沿って低くする必要がある。

答 ①集落営農の広域化は、機械利用の合理化や耕作放棄地の防止にも有効。県としてテコ入れし、新年度施策の充実を図る。②(教育長)課外活動の飛込は原則禁止、講習受講教員だけが指導できるとした。飛込台を低くすることを市町村に働き掛け、指導上の留意点を講習で示す。



浜田 妙子 議員
選挙区 米子市
会派 民進党

里親制度と口腔崩壊について

問 ①昨年の児童虐待が疑われる件数は全国で12万超。里親は大きな役割を担う貴重な存在。関係機関の連携、里親サポート、制度の啓発PRを②県条例にある虫歯予防フッ化物洗口が進んでいない。どう取り組むのか。

答 ①地域連携やセーフティネットを張り、重要な柱として里親制度をバックアップする。(教育長)効果的な連携を探りたい②拡大させるべきで協力する。(教育長)市町村教委、学校現場等に情報提供し、理解を求めていく。



西川 憲雄 議員
選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

各事業の進捗状況 予算編成の考え方

問 ①県版ハローワークの取組は？ニーズに合わせた人の開拓に取り組むべき②健康づくりモデル事業は今1カ所のみ。自由度のある取組みを③予算編成の過程で重要視していることは？

答 ①県外からのIJUターンにも活用。女性や高齢者等の求人求職に重点を置く②使い勝手を良くして効果が出るようにする③県民の視点、現場の考え方を重視。活力軸と安心軸の2つを立てて政策を考え、余計なお金を使わず財政力をもたす、そんな知恵を考えながらやっている。



内田 隆嗣 議員
選挙区 米子市
会派 会派自民党

中小企業における働き方改革

問 働き方改革推進のため、経営者側に対するインセンティブとして、制度融資枠の設定とか、新しい県版経営革新計画における働き方改革枠を創設してはどうか？

答 新年度の予算編成の中で、働き方改革枠のような形、例えば勤務環境を変えるための投資であるとか、職員の士気高揚のための方策など、鳥取県版経営革新制度の枠をつくったり、それに基づく投資事業に制度融資の枠をつくるなど、ぜひ検討したい。



藤縄 喜和 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派自民党

台湾との交流深化 県立美術館問題

問 ①台湾台中市との交流をさらに深化させるべき。今後の展開について伺う②美術館問題はまず鳥取市との協議の場を持つべき。県の執行部と市の執行部とがテーブルにつくべきだ。

答 ①まずは交流の端緒を開く観光の協定を結び、それを皮切りに今後のステップアップについても話し合いたい②(教育長)鳥取市との協議の場は必要だ。県の執行部にお願いして一緒になって鳥取市と話をしていける進め方ができないかと思っている。執行部に相談してみたい。



錦織 陽子 議員

選挙区 米子市
会派 共産党

核兵器禁止条約 淀江産廃処分場

問 ①国連で核兵器禁止条約が採択されたが政府は署名を拒否している。唯一の戦争被爆国として政府に署名を求めよ②産廃処分場計画の要である地下水調査に二人の専門家が信頼性に欠ける、疑問が残るなど評価している。県環境審議会を開き双方の専門家を交えて検証すべきだ。

答 ①条約は画期的だ。国際被爆者署名に署名し気持ちを表明したが、条約は国の専権事項②観測データに基づく解析済で、解析結果に問題ない。今後、県の廃棄物審議会でも審査する。



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

大井手川洪水、 中部地震、日欧EPA

問 ①台風18号で、県管理大井手川は全樋門閉鎖し胸まで浸水。樋門操作正しいと言うが記録は操作員の記憶。避難勧告なく行政責任。原因解明と全面補償を②中部地震被災者の家賃補助延長と空き家改修支援③日欧EPA中止、農協弱める農業競争力強化法撤回、即時マルキン(※1)9割実施とコメ直接交付金継続を。

答 ①記録なしでは済まされない。管理に瑕疵なかったか解明急ぐ②延長は倉吉の方針で県も対応。空き家は支援対象外③マルキンとコメ支援は国に求める。



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 民進党

沖防波堤への渡船 禁止措置について

問 今回県は、一方的に沖防波堤への渡船禁止措置を通告した。境港沖防波堤は最盛期には年間2万人の釣人が利用し、経済効果は試算では1億7千万円余。防波堤と沖磯とを比べれば、沖磯の方が危険だ。渡船事業者には生活権もあり、話し合いの場を持つなど仕切り直しすべき。

答 防波堤は本来立入禁止だったが、釣人の進入は絶えず、死亡事故がH12以降16件もあり先日の事故を受け改めて禁止した。事業者とは業態変更を含め、支援について個別に相談したい。



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 民進党

小学生の睡眠時間 減少!睡眠教育を

問 文部科学省のデータでは小学生の睡眠時間が30年間で40分も減少。子どもには十分な睡眠が大切だ。また、大人の睡眠障害も問題。県の取り組みは。

答 睡眠は、脳の発達、成長の促進等、子どもの成長に何よりも大事で、睡眠を確保することは、親や社会の責務。関係者への研修活動や啓発活動を強化していく。大人にとっても、心の健康の問題だけでなく、認知症、心疾患等に影響があり、自死予防にも関連がある。今後ともPRに努めていく。



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

水力発電と下水道への 民間活力導入

問 ①水力発電のコンセッションについて、日野川第一発電所や春米発電所の改修工事を含め対象施設を増やし事業規模を拡大すべき。②天神浄化センターについて、平成32年度のFIT(※2)制度の抜本改正を踏まえコンセッションの導入検討を急ぐべき。

答 ①事業規模をどうするか、ヒアリングを通して民間事業者から意見を伺ってまいりたい。②関係市町村と意見調整を行い、今後、検討会、研究会等を立ち上げ協議を進めてまいりたい。

※1 マルキン…肉用牛肥育経営安定特別対策事業のこと。粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の8割を補填金として交付する補助事業。

※2 FIT制度…固定価格買い取り制度(Feed-in Tariff, FiT)のこと。エネルギーの買い取り価格を法律で定める方式の助成制度。



浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

医療的ケア児を含む 障がい児者施策

問 特別支援学校を卒業した後の居場所づくりについて、これまでにない発想で取り組んでいく視点が必要ではないか。

答 社会とのつながりを上手につくることが必要。一定の人材確保・施設の拡充をした上で、例えば放課後児童クラブのようなことを更に強化していくことが居場所づくり、生活介護等にも広がる。市町村とも協調して、施設整備面・送迎面・人材面などで見直しをかける。(教育長) 知事部局とも連携・協力し、取り組みを進めていきたい。



浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

建築技術の 革新と伝承

問 ①CLT(※)利用促進に向けてどのような取組みをしていくのか
②伝統的木造建築技術の継承は重要。守っていくべきで、そうした事業も大事では。

答 ①住民への周知や実務に携わる方々への研修等人材育成を強化する。専門家の講演も予定しておりCLTの活用方法を関係者に学んでいただく予定②県産材活用推奨の事業と組み合わせて伝統技能の継承を展開していく。県有施設でも可能なものは木造とし左官仕上げを採用するなど技術の継承に努めていく。



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

有機農業と バイオマスの振興

問 スイスの有機農業研究所で学んだが、本県も指導機関を県立農業大学校等において生産者育成体制を確立してはどうか。

答 有機農業の栽培面積や認証者が増えてきて、ネットワークもできている。農業大学校を核に活用・強化したい。

問 畜産団地導入に伴い、バイオガス発電のみでなく発酵熱の活用も行ってはどうか。

答 次世代型の再生可能エネルギー事業として認定し、計画や施設整備利子補給支援など対応していく。

※CLT…ひき板を並べた層を、板の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル

会派正式名称

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
- 【民進党】 会派民進党
- 【会派自民党】 会派自民党
- 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団
- 【希望】 鳥取県議会希望会派
- 【共産党】 日本共産党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁を含む)。教育長は知事の部局ではないため別に表記した。

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット(<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>)で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課(☎ 0857-26-7460)へお問い合わせ下さい。

11月定例会の日程案

期日	日程
11月 30日(木)	本会議(開会・提案理由説明)
12月 1日(金)	常任委員会
4日(月)	本会議(代表質問)
6日(水)	本会議(一般質問・質疑)
7日(木)	
11日(月)	
12日(火)	
14日(木)	常任委員会
15日(金)	
19日(火)	特別委員会
20日(水)	特別委員会
21日(木)	本会議(採決・閉会)

※日程は変更の可能性があります。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育



9月定例会では、本委員会所管の「平成29年度一般会計補正予算(第2号)」及び「特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部改正について」の2議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情が2件あり、組織的犯罪処罰法の改正に係る意見書の提出を求めるもの、公文書の適切な管理運用を求める意見書の提出を求めるものについて、慎重に審議を行った結果、いずれも不採択と決定した。

県外調査では、和歌山県と大阪府を訪問し、中山間地における県立高校の特色ある取組及び和歌山県立博物館における美術作品の所蔵・展示状況と和歌山県立近代美術館との連携に係る取組並びに公民戦略連携デスクの取組等を調査した。

福祉生活病院



9月定例会では、本委員会所管の平成29年度一般会計補正予算(第2号)、及び平成29年度鳥取県営病院事業会計補正予算の2議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情が3件あり、商品・役務のネット販売に係る販売手数料等の表示に係る意見書の提出を求めるもの、仮想通貨に係る法的規制、取引所の監視体制の強化等を求める意見書(消費者関係)の提出を求めるもの、国民生活センターにおける相談業務に係る意見書の提出を求めるものについて、慎重に審議を行った結果、いずれも不採択と決定した。

県外調査では、秋田県と岩手県を訪問し、子育て支援や、木質バイオマスエネルギーの利用促進、災害派遣福祉チームに係る取組等を調査した。

農林水産商工



9月定例会では、本委員会所管の平成29年度一般会計補正予算(第2号)などの4議案を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

補正予算の主な事業は、台風18号により生じた災害の復旧事業、県産加工食品の輸出拡大を目的とした施設を整備する事業、鳥取和牛の生産を拡大する事業などがあつた。

併せて請願・陳情の審査を行い、仮想通貨に係る法的規制、取引所の監視体制の強化等を求める意見書(事業者関係)の提出を求める陳情は不採択と決定した。

また、8月に宮城県、山形県を訪問し、自動車産業の振興施策、環境保全米等の有機栽培の振興施策、新電力による地域産業の振興、アユに関する内水面の取組等を調査した。

地域振興県土警察



9月定例会では、「平成29年度一般会計補正予算(第2号)」など8議案について慎重に審議を行った。その結果、いずれも妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、イージス・アショア基地の誘致を求める陳情及び県警に対する県民の声のネット公開を求める陳情について慎重に審査し、いずれも不採択と決定した他、道路財法による補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書を本委員会で発議することに決定した。

また、8月には、新潟県及び福島県において、公立大学の運営、冬期における道路交通確保対策及び港湾振興施策等について調査を実施した他、10月には、公立鳥取環境大学の今後の在り方について、大学と意見交換を行った。

平成29年9月定例会付議案等議決結果(1賛否が分かれた議案及び否決された議案)

議案等番号	件名	自由民主党							
		内田博長	斉木正一	島谷龍司	中島規夫	西川憲雄	野坂道明	浜崎晋一	
①	平成29年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	
⑦	鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	
⑨	工事請負契約(国道181号江府道路宮ノ谷トンネル工事(補助改良))の締結について	○	○	○	○	○	○	○	
⑩	工事請負契約(国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(小鴨1号橋(P4-A2))(補助改良))の締結について	○	○	○	○	○	○	○	
①	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告							
請願29年-19	議会運営委員会委員の決定及び動画公開等について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
請願29年-29	鳥取県議会での一般質問時間の制限を厳格化しないことについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-13	開かれた鳥取県警実現のため、県警に対する県民の声のネット公開を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-22	「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法の改正に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-23	商品・役務のネット販売に係る販売手数料等の表示に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-24	仮想通貨に係る法的規制、取引所の監視体制の強化等を求める意見書(消費者関係)の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-25	仮想通貨に係る法的規制、取引所の監視体制の強化等を求める意見書(事業者関係)の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-26	公文書の適切な管理運用を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情29年-28	国民生活センターにおける相談業務に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席、「除」除斥。
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

平成29年9月定例会付議案等議決結果(2全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
②	平成29年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計補正予算(第1号)	可決
③	平成29年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第2号)	可決
④	平成29年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第2号)	可決
⑤	特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部改正について	可決
⑥	鳥取県港湾管理条例の一部改正について	可決
⑧	工事請負契約(国道178号(岩美道路)トンネル工事((仮称)岩美1号トンネル)(補助))の締結について	可決
⑪	土地収用裁決申請事件に係る和解について	可決

自由民主党				民進党					会派自民党					公明党		のぞみ希望		共産党		無所属		賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果						
浜田一哉	広谷直樹	前田八壽彦	松田正	安田優子	伊藤保	興治英夫	木村和久	坂野経三郎	浜田妙子	福岡裕隆	森雅幹	上村忠史	内田隆嗣	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	山口享	稲田寿久	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝					川部洋	横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏
議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	可決
委員長報告に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択
○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択
○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」「継続審査」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑫	平成28年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成28年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑬	平成28年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
⑭	平成29年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)	可決
⑮	鳥取県人事委員会委員の選任について	同意
⑯	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
②	北朝鮮による弾道ミサイル発射及び核実験等に抗議する意見書	可決
③	道路財法による補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	可決
陳情29年-27	イージス・アショア基地の誘致について	不採択



鳥取県の次世代を担う学生たちが議場の壇上に立ち、知事らに県議会本番さながらに質問する学生議会が、10月17日(火)に開催された。

昨年度は高校生が対象だったが、今年度は大学・高専の学生が対象。鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校から各2名ずつ、合計10名の学生が参加し、地域活性化や県内企業への就職問題などについて活発な議論を展開した。

参加した学生たちは普段の生活の中の疑問や学生としてのいろいろな活動を通して感じている思いを質問として取り上げ、学生ごとに配置された県議会議員にアドバイスを受けながら練り上げていき、福祉や環境、インフラ整備などあらゆる分野の鋭い質問がぶつけられた。

公立鳥取環境大学の澤田雄太さんからは「学生への情報発信が不十分だ。県だけでやるのではなく、私たち学生と一緒にやりませんか。」と積極的な提案がされた。

参加した学生の皆さんからは、「参加したことで県政についていろいろなことを調べる機会が得られた。」「自分が普段疑問に思っていることを県議会という場で質問でき、とてもよい経験になった。」

「他の学生の違った視点からの意見を聞くことができ、貴重な経験ができた。」などの感想が聞かれた。

学校名	学生氏名	質問項目
鳥取短期大学	郡 千 陽	ピンクで鳥取県の活性化を図る
公立鳥取環境大学	澤田 雄太	各地の団体が行っている企画の情報の宣伝には、どのくらい力を入れているのか。
鳥取大学	吉田 典央	大学生等の県内企業への就職について
鳥取看護大学	中村 千尋	高齢者の交通手段確保について
鳥取大学	金子 睦月	インフラ整備について
米子工業高等専門学校	小西 沙季	鳥取県における自然エネルギー等の発電について
公立鳥取環境大学	大森 祐貴	地域活性化について
鳥取短期大学	門脇 琴美	外国人観光客をさらに増やすにはどうすべきか
米子工業高等専門学校	大黒 和真	県の原発事故後の対策について
鳥取看護大学	三浦 菜穂	世代間交流について

(質問順)